



病院ホームページ



Facebook



脳神経内科 中村医師(右)と守谷医師(左) 診察室にて

【特集1】 診療科クローズアップ 脳神経内科

**【特集2】 手話言語の国際デー・手話の日に
『医療従事者のための手話教室』が開催されました**

Vol.65

基本理念：「わたしたちは、いのちと健康、尊厳を守るため、より良い医療を目指します」

基本方針：「患者さん中心の医療」「良質な医療の提供」「地域医療機関との連携」「救急医療の充実」
「災害時の救護活動」「原子力災害対応機能の充実」「健全な経営の維持」



脳神経内科



中村耕一郎
脳神経内科部主任部長

〈認定医・専門医等〉
日本神経学会認定神経内科専門医・指導医
日本内科学会認定総合内科専門医
日本 DMAT 隊員



守谷 新
脳神経内科部長

〈認定医・専門医等〉
日本神経学会認定神経内科専門医・指導医
日本内科学会認定総合内科専門医
日本医師会認定産業医

「脳神経内科」ってどんな診療科？

脳神経内科は**脳や脊髄といった中枢神経、末梢神経、筋肉に関わる疾患を扱う診療科**です。これらの器官は、体全体にネットワークとして張り巡らされています。そのため、神経疾患による患者さんの症状も頭痛やしびれ、めまい、物忘れなどの頻度が多いものから、筋力低下、ふらつき、歩行困難など多岐にわたります。したがって、脳神経内科では脳卒中、急性脳炎、髄膜炎といった急性疾患から、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症といった神経変性疾患、認知症のような慢性疾患まで、幅広い病気が対象となります。

脳卒中治療と脳卒中センター

脳卒中は脳の血管が突然閉塞したり、破けて出血することにより脳に重大な障害をきたす疾患です。卒中とは「卒に（にわか）風に中る（あたる）」という意味で、昔脳卒中は突然悪い風の中^{あた}って起きると言われていました。脳卒中治療は“**Time is Brain**”と言われるほど、発症から数時間以内に治療を開始できるかが予後を大きく左右します。当院では脳神経外科と脳神経内科が共同して**脳卒中センター**を開設し救急診療にあたっています。特に当科では脳梗塞、一過性脳虚血発作といった虚血性脳卒中（脳血管が閉塞することによる脳卒中）を担当しています。脳梗塞を罹患する患者さんは、年々増加し続けております。脳梗塞は、発症直後の急性期管理のみならず、高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙といった動脈硬化の危険因子を管理し予防することが重要です。担当医、看護師、放射線技師、リハビリテーションスタッフ、医療相談員がチームとなり、総合的に患者さんのサポートを行っております。

神経難病への対応

神経難病とは原因が不明で根治的な治療がなく、次第に障害が進行し、身体機能やコミュニケーション能力が著しく阻害される神経疾患の総称です。そのため介護負担も大きく、進行すると胃ろう管理や人工呼吸管理が必要になるなど、医療依存度や看護負担も大きくなっていきます。神経難病には、難病中の難病といわれる筋萎縮性側索硬化症（ALS）やパーキンソン病、脊髄小脳変性症といった疾患が含まれます。当科外来には、特にパーキンソン病の患者さんが多数通院されています。パーキンソン病は早期に適切な診断を受け、専門医の管理により薬物療法を継続することによって運動機能の改善、維持が見込まれる疾患です。慢性疾患であるため、症状とステージに応じて薬物療法を行うだけでなく、医療相談員や地域の介護福祉スタッフと連携し患者さんの生活をサポートしています。

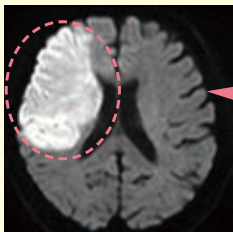
神経疾患のゲートキーパー〈門番〉として

前述した疾患以外にも、てんかんや片頭痛のような適切な診断と加療により症状のコントロールが可能な疾患や、脳神経外科・整形外科・耳鼻咽喉科・眼科などの様々な神経疾患に関連する他科との連携が必要な疾患にも対応しています。神経の症状は特に複雑で、一つの診療科では解決困難なこともあります。脳神経内科は**神経疾患のゲートキーパー**として、患者さんの抱える神経の問題を少しでも解決できるよう診療を行っております。

（文責：中村耕一郎）

脳梗塞を発症しやすくなる 様々な危険因子

- ☑ **高血圧**
脳の深い部分を流れている細い血管が詰まりやすくなります ▶ラクナ梗塞
- ☑ **糖尿病・脂質異常症・高血圧**
太い血管が動脈硬化を起こし血栓（血の塊）ができやすくなります ▶アテローム血栓性脳梗塞
- ☑ **心房細動 ※不整脈の一種**
心臓の中にできた血栓が脳血管に飛んで詰まりやすくなります ▶心原性脳塞栓症



心原性脳塞栓症の
脳の MRI 画像

赤枠の部分が血栓によって詰まっています

脳卒中を見逃さない合言葉 **FAST**

脳卒中は「数時間以内に治療できるか？」がカギです。その脳卒中を早期発見するための合言葉が **FAST** です。

脳卒中は冷え込む時期に増えやすい疾患でもあります。大切な方を守るために、ぜひ **FAST** を覚えてください。

Face……顔が麻痺する／ゆがむ

Arm……腕に力が入らない

Speech……言葉がでてこない
ろれつが回らない

1つでも当てはまったら…

Time……発症時間を確認し
すぐに救急車を呼ぶ

発症から数時間以内であれば、血栓を溶かす薬や、血栓をカテーテルで取り除く手術で対処できる可能性が高まります。



当院では脳の病気について検査を行う
脳検診を実施しています
詳しくは健診センターのページをご覧ください



脳神経内科・脳神経外科が
共同して治療にあたる
脳卒中センターについては
こちらをご覧ください

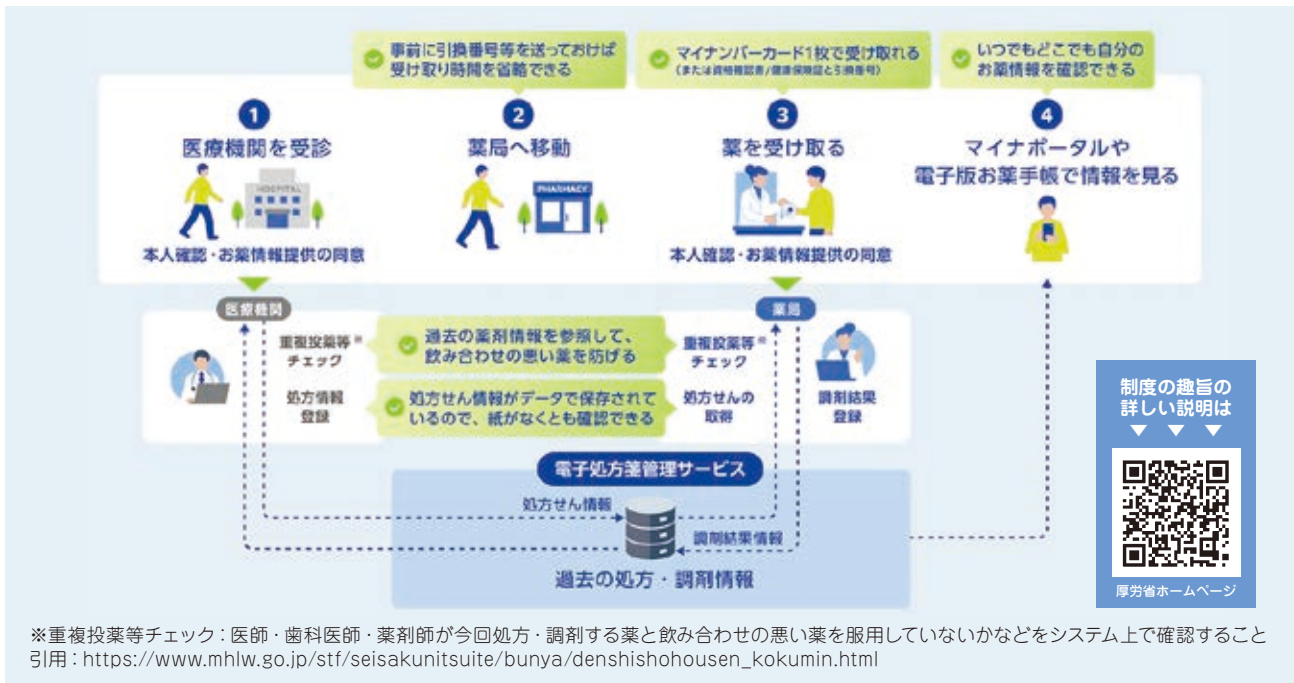
電子処方せんを発行できるようになりました



電子処方せんとは、これまで“紙で発行していた処方せんを電子化したもの”です。
この仕組みにより、医師と薬剤師が患者さんの過去の薬剤の処方状況を確認できることから、**飲み合わせの悪い薬剤の処方を防ぐことができる**ため、安心安全な医療に繋がります。

電子処方せんを希望する方は…

マイナンバーカードでの受付後に各科の**外来受付**にお声がけください



【患者さんへ大切なお知らせ】

医事課

2025/12/2 [火]以降、**従来の健康保険証が利用できなくなります**

▶ **マイナ保険証のご準備をお願いします**

※マイナ保険証をお持ちでない方は「資格確認書」をご準備ください



マイナンバーカードをマイナ保険証として利用するための登録をお願いします

登録場所 08:30~11:30 ▶▶ 2階 保険確認コーナー
11:30~17:00 ▶▶ 1階 総合受付

マイナンバーカードをご用意ください
登録は1~2分で完了します

マイナ保険証の受付はここで実施しています

受付場所 08:30~11:30 ▶▶ 2階 保険確認コーナー
11:30~17:00 ▶▶ 1階 総合受付

※登録、受付に関するご不明点は職員にご確認ください

Point!

健康保険証とは異なり、本人確認と医療情報閲覧の同意確認が受診の都度必要です



2階 保険確認コーナー

マイナ保険証を使うと2つのメリット

安心

医師が患者さんの特定健診情報や薬剤情報を参照できることで、正確なデータに基づいた、より良い診療の提供を行うことができます。
※マイナ保険証受付時に医療情報閲覧の同意が必要です

便利

限度額適用認定証の申請手続きをしなくても、高額療養費制度における限度額を超えるお支払いを免除することができます。

災害救護活動記録

11 / 6-7

原子力災害時の救護研修

日本赤十字社北海道支部（札幌市）で開催された『日本赤十字社 原子力災害時の救護研修』に看護師、診療放射線技師、事務職員、日赤福島県支部職員の5名が参加しました。

「原子力災害（原子力発電所などでの事故）が発生した際に、安全に救護活動を行うための知識と判断力を習得する」ことを目的に、放射線の基礎、原子力災害の救護の在り方、リスク管理、線量計の使用方法など幅広く学びました。また、原発事故後の避難所支援者として派遣された想定で、安全に活動するための計画を立案する実習も行われました。

原子力災害において、診療放射線技師は被災者と救護者の被ばく管理を行うため、自分の役割の重要性を実感しました。また、原子力災害に対応するためには、日頃の業務では用いない放射線の知識が必須です。正しい知識が、活動リスクを低減させ、被災者・救護者の不安を和らげることにつながるため、平時から知識と技術を蓄える必要性を感じました。

「正しい知識で、冷静に判断し、被災者と救護者を守る」ために、原子力災害拠点病院の職員として、研鑽を続けていきたいと考えています。（放射線科部 診療放射線技師）



線量計の使用方法を確認

6・7月・9月
中学生職場体験

3日間で色々な職種のお仕事を体験！



8月1日
わらじまつり

6年ぶりの参加で踊りを楽しみました！



 **病院 News!**
この夏の色々なイベントの様子をお届けします

7月29・30日
高校生の一日看護体験

病棟の業務に密着！
現役看護師との交流も



9月18日
アウトリーチコンサート

(福島市音楽堂様主催)
ピアノとフルートの美しい音色に感動！

暮らしに役立つ!!

みんなの健康メモ

今回は
放射線科部

今回のトピックス：胸部X線撮影の豆知識

主に肺や心臓を見る（胸部X線撮影（俗に言うレントゲン））。撮影時に「腕を前に出して内側にひねってください」とスタッフから指示を受けると思いますが、一体何のために動作なのでしょう？

実はあれは、**肺を見やすくするための大切な動作**なのです。本来であれば肩甲骨と肺は重なっているのですが、腕を前に出してひねると、**肩甲骨が肺の外側に移動**します。これにより2つが重ならなくなるため、肺の状態がよく見えます。

より精度の高い画像で適切に診察するための大切なひと手間なのです。

「きれいな画像は、あなたの健康を守る第一歩」

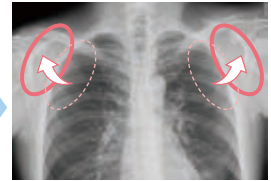


背中側の肩甲骨

背中にある肩甲骨ですが…普通に撮影をしてしまうとその前にある肺と重なり、肺の状態が見えにくい画像になってしまいます



腕をひねって前に出すと…



肩甲骨が身体の外側へ移動して肺が見えやすくなりました！



ちなみに…

胸部X線撮影は、ボタンや金具などの装飾品が付いていない服であれば、服を着たままでも撮影可能です！

※一部例外あり

新任医師紹介

糖尿病・代謝内科



やまぐち みずき
山口 瑞希

出身大学
福島県立医科大学
平成29年卒

専門とするもの

糖尿病・内分泌

認定医・専門医

日本内科学会 内科専門医
日本糖尿病学会 糖尿病専門医
日本内分泌学会 内分泌代謝・糖尿病内科領域専門医

メッセージ

地域の皆様のお役に立てるよう精一杯努めてまいります。
よろしくお願いいたします。

消化器内科



ながしま ちさと
長島 智里

出身大学
福島県立医科大学
令和4年卒

専門とするもの

消化器内科

メッセージ

福島市の地域医療に貢献できるように精進いたします。
よろしくお願いいたします。

フリーWi-Fiが 使用できるようになりました!

患者さんから要望の多かったフリーWi-Fiの提供をはじめました。

病棟、外来の各場所でご利用いただけます。

利用方法を記載したポスターを掲示しております。ご自由にお使いください。

調べものが
しやすくなるね♪



福島赤十字病院 登録医師・医療機関のご紹介

*医療連携にご協力いただいている医療機関を順次ご紹介いたします。

野田循環器・消化器内科外科クリニック

■理事長 野田真由美 先生 ■院長兼在宅診療部長 野田 芳範 先生

～野田先生からのメッセージ～



野田真由美 先生



野田 芳範 先生

当院は循環器内科医と消化器外科医の二人で診療を行っています。その為循環器科、一般内科、糖尿病内科、消化器科、一般外科、肛門科、乳腺・甲状腺外科と幅広い診療科に対応しております。

福島赤十字病院様には、日々、多くの患者様を受け入れていただき、大変お世話になっております。今後とも当院との連携をよろしく願いいたします。



クリニック
ホームページ▶



《診療科》

循環器科、一般内科、糖尿病内科、消化器科、一般外科、肛門科、乳腺・甲状腺外科

《住所》

〒960-0113
福島市北矢野目字原田59-5

《電話》

024-559-1133

《休診日》

火曜日・日曜・祝日

受付は30分前までにお願いします

	診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前	8:30~12:00	○	×	○	○	○	○ 8:30~14:00	×
午後	14:00~17:00	○	×	○	○	○ 手術	×	×
夜間	17:00~19:00	×	×	○	×	○	×	×

ふたば皮膚科

■院長 鈴木 幹 先生

～鈴木先生からのメッセージ～



双葉郡に開設しておりました診療所を震災後に福島市に移転いたしましたのも、つい最近の事のように思いますが、

今年で7年目になります。

形成外科の浅井先生におかれましては腫瘍系疾患の患者さんを多数治療していただき感謝しております。

昨今、皮膚病治療に重要な薬剤がいくつも出荷停止となっている現状を危惧しておりますが、可能な限り丁寧な診察を心がけております。



クリニック
ホームページ▶



《診療科》

皮膚科

《住所》

〒960-8003
福島市森合字蒲原18-47

《電話》

024-573-0343

《休診日》

木曜日・日曜日・祝日

	診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前	9:00~12:30	○	○	○	×	○	○	×
午後	14:30~18:00	○	○	○	×	○	×	×

特集 2

手話言語の国際デー・手話の日に 『医療従事者のための手話教室』が開催されました

9月23日(火・祝)に、当院にて『医療従事者のための手話教室』が開催されました。当院・地域の医師、看護師、消防署職員など、計20名が参加しました。

きこえない・きこえにくい方が直面する医療格差の解消への第一歩として、医療現場で必要とされる手話や必要な配慮を、講義・実践を通して学ぶことが目的です。

9月23日が手話言語の国際デー、手話の日であることにちなんで開催されたほか、2025年11月に楡葉町でサッカー競技が開催された東京2025デフリンピックを受けた啓発事業でもあります。



じつは…

2025年は日本で“手話の法律”ができた年なんです



2025年6月25日に、日本で**手話施策推進法**が施行されました。

本法案は、手話が使用者にとっての大切な意思疎通の手段であるとし、①手話の習得・使用が円滑に行われる環境の整備、②手話文化の保存・継承・発展、③国民の理解と関心の増進について、国と地方自治体が施策を策定・実施する責務を明記しています。

本法案の成立に伴い、新しく9月23日は『**手話の日**』に決定されました。

1 講演 TCB東京中央美容外科 中園秀樹 医師(耳鼻咽喉科専門医)

聴覚の仕組み、補聴器・人工咽頭の歴史、きこえない・きこえにくい患者さんと接した自身の経験を踏まえて感じた手話の必要性についてお話しされました。中園医師は「手話は英語などの語学と同じで、完璧を目指すのではなく、コミュニケーションであることを意識してほしい。何度やり直してもいいのです。」と、手話に対する心理的ハードルを下げるよう訴えました。



2 講演 福島県聴覚障害者情報支援センター 山田尚人 所長

きこえない・きこえにくい方々の現状や、生活・医療現場で直面する困難について説明いただきました。また、あいさつ・医療用語など基礎的な手話を学びました。山田所長は「きこえない・きこえにくい人が困ったときでも、お互いにコミュニケーションできる社会を作りたいです。」と述べました。

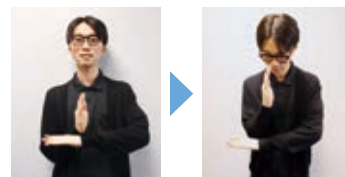
3 診療場面を想定したロールプレイ

〈医師／看護師／きこえない・きこえにくい患者さん／通訳者〉に分かれ、患者さんがどのような立場に置かれているのかを体験しました。意思疎通の難しさに戸惑いながら、「どのような配慮が必要なのか？」を学びました。



参加者の声

- 「何かをしなければならない」と身構えず、まずは挨拶で伝えたいという気持ちを表現できたらいいと思った。
- システムやツールに頼りすぎるのではなく、目で見えるコミュニケーションも大事だと感じた。
- このような講座はまだ少ないと思うので継続を希望したい。



覚えてみましょう！「ありがとう」

発行
編集

福島市八島町七番七号
〒九六〇―八五三〇

福島赤十字病院
〒〇二四―五三四―六一〇

印刷
陽光社印刷株